

天理大学ホッケー男子部 2021年度活動報告

歳末ご多端の折、皆様におかれましてはますますご清祥でご活躍のことと存じます。

本年も多くの皆様のご協力とご支援をいただき、誠にありがとうございました。

本年は、第40回全日本大学王座決定戦において4大会ぶり25回目の優勝、第90回全日本学生選手権大会において13年ぶり30回目の優勝という結果を残すことができました。13年間優勝から遠ざかっておりました全日本学生選手権大会での優勝については、4月にチームが始動してからの最大の目標として参りました。選手・スタッフが丸となり日々厳しい練習・強化に全力で取り組み、また多くの卒業生なども様々な視点から活動にご尽力いただき、悲願の結果を残すことができたと感じております。諸先輩方が築かれてきた天理大学ホッケー部の歴史に新たな1ページを刻めたと、大変嬉しく感じております。

我々天理大学ホッケー部の活動とは直接関係はございませんが、当部3回生 永吉 拳・膳棚 大剛コーチが2020東京オリンピック出場を成し遂げることができました。また総勢9名の当部現役・卒業生がオリンピックに出場し活躍をしてくれました。男子ホッケーでは53年ぶりのオリンピック出場となりましたが、3年後のパリ大会出場においても当部関係者が活躍できるよう、また日本男子ホッケー界を先導できるよう引き続き活動・強化に励んで参りたいと決意しております。

最後になりましたが、今なお新型コロナウイルス感染の影響が多く残る情勢の中でも我々がホッケー活動を行なえたこと、そして活動においてご尽力下さった皆様、ご協力下さいました皆様に感謝申し上げます。

来年はより一層の飛躍の年となるよう精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

男子部監督：穴井善博

コーチ：膳棚大剛

黒川大地